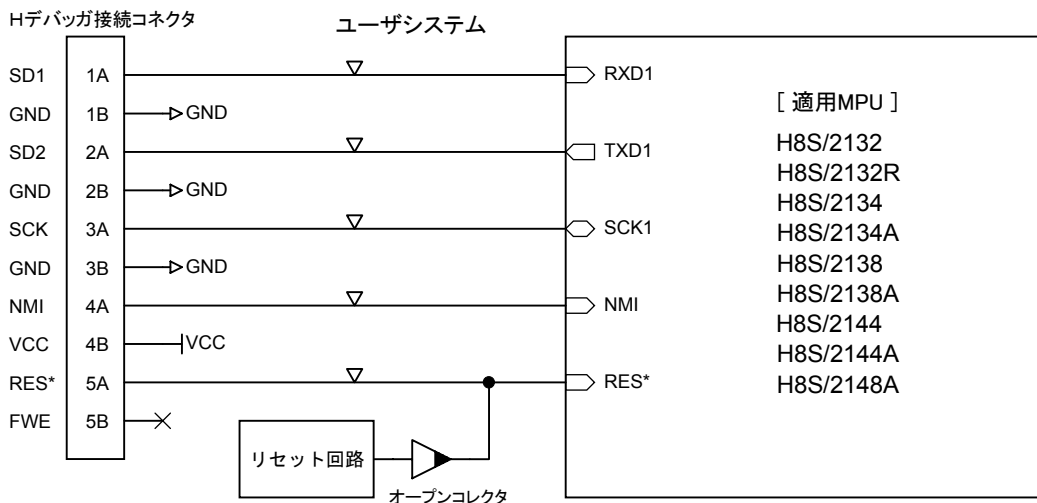


【 接続例10 】 H8S/2134,2138,2144,2148グループの場合 (H8S/2100シリーズ)



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) FWE信号は使用しません。(どこにも接続せず開放にしてください)
- 3) リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハード設計をして下さい。
- 4) CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザ(ターゲット)側で用意して下さい。